

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第1区分
 【発行日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【公表番号】特表2009-537738(P2009-537738A)
 【公表日】平成21年10月29日(2009.10.29)
 【年通号数】公開・登録公報2009-043
 【出願番号】特願2009-511384(P2009-511384)
 【国際特許分類】

F 0 4 B 39/08 (2006.01)
 F 1 6 D 48/02 (2006.01)
 B 6 0 T 17/00 (2006.01)
 B 6 0 T 17/02 (2006.01)

【F I】

F 0 4 B 39/08 C
 F 1 6 D 25/14 6 4 0 V
 B 6 0 T 17/00 B
 B 6 0 T 17/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年9月25日(2012.9.25)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

駆動部(10)により空気式切替クラッチ(12)を介して駆動可能なコンプレッサ(14)と、

圧力供給管路(112)を介して前記クラッチの切替入力側(20)へ圧縮空気を選択的に供給するための、電気信号(16)によって操作可能なバルブ(18)とを有している、商用車のための圧縮空気供給装置において、

前記切替入力側(20)に前記バルブ(18)を介して供給される圧縮空気が、逆止弁(40)と、該逆止弁(40)に後置接続されている圧力供給管路(112)とを介して圧縮空気処理ユニット(26, 28, 30)から取り入れられ、その際前記逆止弁(40)が、圧力供給管路(112)内で、圧縮空気供給装置とこれに接続している負荷の領域におけるその他の作用に基づく圧力低減を阻止し、さらに前記逆止弁(40)が圧力供給管路(112)内で、前記圧縮空気処理ユニット(26, 28, 30)とこれに接続している負荷の領域におけるその他の作用に基づく圧力低減を阻止するように構成されていることを特徴とする圧縮空気供給装置。

【請求項2】

前記逆止弁(40)は、圧縮空気処理ユニット(26, 28, 30)内に集積ないし統合されている、請求項1記載の圧縮空気供給装置。

【請求項3】

前記バルブ(18)はコンプレッサ(14)への吸気ダクト(22)の領域に配設されている、請求項1または2記載の圧縮空気供給装置。

【請求項4】

前記バルブ(18)は電氣的にパイロット制御可能な空気式バルブである、請求項1から3いずれか1項記載の圧縮空気供給装置。

【請求項 5】

電気信号が、圧縮空気処理ユニット（26，28，30）内の圧力に反応する圧力スイッチ（24）によって使用される、請求項1から4いずれか1項記載の圧縮空気供給装置。

【請求項 6】

前記電気信号は、圧力依存性の入力信号を受取る電子制御部（32，34，36，38）によって使用される、請求項1から5いずれか1項記載の圧縮空気供給装置。

【請求項 7】

前記電気信号は、温度依存性の入力信号を受取る電子制御部（32，34，36，38）によって使用される、請求項1から6いずれか1項記載の圧縮空気供給装置。

【請求項 8】

前記電気信号は、クラッチの入力側回転数及び/又は出力側回転数に依存する入力信号を受取る電子制御部（32，34，36，38）によって使用される、請求項1から7いずれか1項記載の圧縮空気供給装置。

【請求項 9】

電子制御部（32）が、圧縮空気処理ユニット（26）に集積ないし統合されている、請求項1から8いずれか1項記載の圧縮空気供給装置。

【請求項 10】

電子制御部（36）が、インターフェースを介して、圧縮空気処理ユニット（28）に集積ないし統合されている制御部（34）と通信する、請求項1から6いずれか1項記載の圧縮空気供給装置。

【請求項 11】

請求項1から10いずれか1項記載の圧縮空気供給装置を備えていることを特徴とする商用車。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0008

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0008】

本発明は請求項1の上位概念による圧縮空気供給装置において、切替え入力側にバルブを介して供給される圧縮空気が逆止弁を介して圧縮圧力処理ユニットから取出されるように構成されている。空気式バルブにおける高い切替え速度を保証するために、空気式バルブへのリード線路が有利には所期の圧力レベルに保持される。それと共にバルブの開放の際には直ぐに十分な圧力が準備され、この圧力はクラッチまでの短い管路を介してクラッチの切替えを迅速に作用せしめる。クラッチを切替えるための圧縮空気は有利には他の負荷へも圧縮空気を供給する圧縮空気処理ユニットから取出されるので、換気ないし通気過程中の十分な圧力レベルは空気式バルブに接続する管路内において頻繁に付加的圧力蓄積容器によって保証されている。このことは、切替え入力側にバルブを介して供給される圧縮空気が逆止弁を介して取出されるならば、不要となる。というのもこの逆止弁が、圧縮空気処理ユニットとそれに接続されている負荷の領域内のその他の作用に基づく圧力供給管路内の圧力低減を阻止するからである。